

4 ホウレンソウの作期別品種比較試験

試験の目的

ホウレンソウは播種時期による品種の使い分けが必要ですが、平成29年度は、高温期における品種特性の把握を目的として試験を行いました。平成29年度試験での新たな取り組みとして、高温期に発生しやすい土壌病害への強さを調べるため、収量等の基本調査を行う土壌消毒済み圃場に加え、あえて土壌病害を出やすくした圃場での試験栽培も実施しました。

関係先

旭川青果物生産出荷協議会ほうれん草部会，東神楽農業協同組合ほうれん草部会

試験作期等

	作期 1	作期 2
播種	7月20日	8月8日
栽植密度等	条間 20cm×株間 6cm=8,333 株/a, 雨よけハウス栽培, 2 反復	

供試品種

作期 1			作期 2		
No.	品種名	販売元	No.	品種名	販売元
1	サンホープセブン(標準)	カネコ種苗	1	晩抽サマースカイ(標準)	タキイ種苗
2	チェイサー		2	チェイサー	カネコ種苗
3	ジャスティス	サカタのタネ	3	ミラージュ	サカタのタネ
4	SC5-423		4	ジャスティス	
5	モデラート	トーホク	5	SC5-423	タキイ種苗
6	プリウスアルファ	トキタ種苗	6	TSP-536	
7	TSX-628		7	モデラート	トーホク
8	NSP-102	ナント種苗	8	プリウスアルファ	トキタ種苗
9	スーパートニック	渡辺採種場	9	TSX-628	
-	-	-	10	金の夏	ナント種苗
-	-	-	11	NSP-102	
-	-	-	12	スーパートニック	渡辺採種場

調査方法

(1) 調査項目

- ア 生育調査：発芽良否，収穫・抽台までの日数，障害の発生状況など
- イ 収量調査：収穫時の規格別株数割合，1aあたり規格内収量，欠株率
- ウ 特性調査：平均一株重，草姿，葉形，葉色，作業性
- エ 病害調査：土壌病害が出やすい圃場での病害発生状況

(2) 評価指標

晩抽性，収量性，作業性，葉色の濃さ，土壌病害への耐病性といった特性を重視して，各品種の評価を行いました。

土壤消毒の有無による生育の違い

同じ品種を栽培しても、土壤消毒の有無で生育状況は大きく異なりました。消毒をしなかった圃場（写真右）では、多くの品種で発芽不良や立枯が発生した一方、そうした被害が無い品種もあり、品種による土壤病害への強さの違いが明らかになりました。






土壤消毒をした圃場 (H29. 8. 24 撮影)



土壤病害が出やすい圃場 (H29. 8. 25 撮影)

有望品種

作期1・2の試験結果から、市内の夏季栽培で有望と考えられる品種として、次の3品種を御紹介します。なお、“ジャスティス”は土壤病害に極めて強い特性が見られたので、作期1・2の両作期で有望品種としています。ただし、土壤消毒後の圃場など病害が発生しにくい条件ではその特性が活かされないため、作付は土壤病害の発生が多くて対応に苦慮している圃場に限定することをおすすめいたします。

名称	モデラート (作期1)	チェイサー (作期2)	ジャスティス (作期1・2)
写真			
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・葉色が濃い。 ・一株重が重く、収量性が優れる。 ・生育の揃いが良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・葉色が濃い。 ・一株重が重く、収量性が優れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土壤病害に極めて強い。 ・7月下旬播種には十分な晩抽性がある。
難点	<ul style="list-style-type: none"> ・標準品種(サンホフセブン)より、作業性は劣る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・標準品種(晩抽サマスカイ)より、作業性は劣る。 ・生育がやや遅い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一株重が軽く、土壤病害のおそれが無い圃場では、収量性が劣る。 ・葉色が薄い。
他	<ul style="list-style-type: none"> ・土壤病害への耐病性は、標準品種とほぼ同等。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土壤病害への耐病性は、標準品種とほぼ同等。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各作期の標準品種より、生育が早い。

※詳細なデータ、上記以外の品種の結果についてはお問い合わせください。